

問題把握力と具体的展開力強化 2 日間講座

「受検者の傾向」を踏まえ、事例相談者視点と事例指導者視点の問題を的確に把握し、目標設定し、方策を実行することを目指す。

■ 問題把握力と具体的展開力強化 2 日間講座				受講料 (消費税込)	2 日間受講	1 日受講
東京	2022 年 11 月 12 日 (土)	9 : 15 ~ 16 : 15	会場 すみだ産業会館 錦糸町駅下車	会員	36,000 円	23,000 円
	2022 年 11 月 13 日 (日)	9 : 15 ~ 16 : 15		一般	46,000 円	28,000 円
内容	<p>1 級面接試験は、まず経験 2 年目の事例相談者の話を聴いて事例相談者視点の問題を把握した後、事例指導者として事例相談者が気づいていない面談技法上の問題を把握し、本質的解決を目指すところから始まります。</p> <p>事例指導者として事例相談者の面談技法上の問題がどこにあるかを見立て (仮説を立て)、それに気づいてもらうための問いかけをしていきます。ただ、事例指導者として捉えるべき本質的な問題は事例相談者が気づいていないクセであることから、事例相談者の気づきが得られなければ、その解決を目標として提案し、改善しようとしても、抵抗に合うこととなりますので、その対応も求められます。</p> <p>1 級面接試験の「問題把握力」で、所要点をクリアするためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①事例相談者視点の問題把握を試験官に伝える ②事例指導者としての見立てと気づいてもらうための働きかけをする ③事例指導者視点の問題把握を試験官に伝えるための目標の提案する ④抵抗にあってしまった場合に、合意を目指す ⑤こうしたプロセスを口頭試問でどう答えれば加点につながるかを考えるなどのスキルがあることを、30 分のロールプレイと口頭試問で表現することが求められます。 <p>本講座では、「問題把握力」の所要点をクリアすることを目的に、特に①と②に焦点を当てた指導者スキルを理解したうえで、受講者同士でロールプレイを行って確認し、見立てと気づきを促すアプローチに関する「引き出し」を増やして、様々な事例相談者に対応できることを目指します。さらに、「受検者の傾向」で指摘されていることを踏まえ、「評価区分」の記述と自身の面談とを比較し、合格に向けた課題を明確にします。</p>					

☑ 1 級試験の構造 理解度チェック	
事例指導者が見立てる事例相談者が抱える「本質的な課題」とは何ですか？ 本人の面談技法上の「何らかの偏り」ですが本人は気づいていません。	
試験官が採点している「評価区分」や「試験実施概要」で示された「事例指導」とは何か答えられますか？	
「試験実施概要」にある事例相談者のキャリアコンサルタントとしての成長を 30 分のロールプレイと 10 分の口頭試問で提示できていますか？	